

看護医療・健康類型 Q&A

Q 1 どのような生徒を募集するのですか？

将来、看護師や助産師・保健師、理学療法士、作業療法士、介護福祉士、スポーツトレーナーなどの進路を考えている生徒、地域における看護医療や福祉、健康スポーツに興味・関心がある生徒を募集します。

Q 2 類型での特色ある授業の内容は？

令和4年度では特色ある科目として、2年生では、「看護医療基礎」、「スポーツ科学基礎」を、3年生では、「看護医療総合」「スポーツマネジメント」「ボランティア実践」「栄養学基礎」「スポーツ医療」などの科目を設置しています。

これらの科目では、看護医療系の職業に関する基礎的な知識、地域における福祉、健康維持のためのスポーツ、救急法やテーピング技術、スポーツマネジメント等について学びます。

Q3 入学後、看護医療や福祉、健康スポーツに関する科目をすべて学ぶのですか？

令和4年度では、2年生では、「看護医療基礎」と「スポーツ科学基礎」のどちらか1科目を選択します（週2時間）。

また、「総合的な探究の時間」では、医療や健康スポーツ系の分野に関して調査研究・発表活動を行います。

また3年生では、「看護医療総合」「スポーツマネジメント」「ボランティア実践」「栄養学基礎」「スポーツ医療」の5科目から2科目を選択します（週4時間）。

Q 4 類型の特色ある科目を学ぶことによって、看護師や介護福祉士の資格取得が可能となるのですか？

「看護医療・健康類型」は普通科の類型であり、看護学科や福祉科（専門学科）のように、看護師や介護福祉士の資格を取得できるわけではありません。

ただ、本校の特色ある科目を学ぶことは、看護医療や健康スポーツの方面の専門学校や大学を受験する上で、単に受験科目を学ぶだけでなく、看護医療や健康スポーツに関する基礎的な知識を身につけるとともに、実際に仕事をされている方の話を聴いたり、病院や介護施設等において見学やインターンシップ、ボランティア活動等を行う中で、しっかりとした目的意識を持つことができるようになります。

そして専門学校や大学へ進学した後も、専門教育をスムーズに受けることができる土台づくりとなっていきます。

その土台づくりの中には、対人関係能力・企画・運営力・リーダーシップフォロアーシップの力なども含まれます。

Q5 特色選抜はどんな内容ですか？体育の実技試験は行わないのですか？

「面接」と「小論文」を実施し、実技試験は行っていません。

Q6 募集人数は何人ですか。「看護医療」と「健康」で分けて募集するのですか？

募集人数は募集要項に発表いたします。それまではまだ未定であるをご理解ください。

また、「看護医療」と「健康」でまとめて募集します。募集定員を分けて募集はしません。

Q7 面接は集団面接か個人面接のどちらですか。面接の中で「看護医療・健康」に関する専門的な知識が聞かれるのですか？また面接に向けてどんな準備をすればいいのですか？

面接では、中学生が答えられないような専門的な知識を問うことはありませんが、まずは志望動機や中学校での学校生活について自分なりの言葉で答えられるように準備をしておいてください。

Q 8 小論文はどのような形式ですか。「看護医療・健康」に関する専門的な論文を書く必要があるのですか？また、小論文に向けてどんな準備をすればいいのですか？

小論文の形式や内容については、これまでの出題例を参考にしてください。

なお、中学生が書けないような専門的な論文を書くことは出題しませんが、日頃から看護医療や健康スポーツに関する新聞記事やニュースに目を通し、関心を持つようにしておいてください。

Q 9 類型での特色ある活動は？類型分けのない1年生でも特色ある活動はあるのですか？

類型分けは2年生からです。

また、特色選抜で入学した生徒については、年に複数回、放課後を利用して、専門分野の講演会などを実施しています。

夏季・春季休業中に市内の医療機関や介護施設、スポーツ施設等での見学や、インターンシップ、ボランティア活動等を行います。

Q10 2年次に特色類型に進まず、他の類型に進むことはできますか？

特色選抜で受検して入学をすれば、特別な事情がない限り、看護医療・健康類型に進みます。

Q11 特色選抜で入学した生徒は、3年間同じクラスですか？

1年生から3年間同じクラスになっています。

Q12 部活動との両立は可能ですか？施設見学やインターンシップ、ボランティア活動等の特色ある活動を行うことで放課後や長期休業中が忙しくなり、部活動もできなくなるのではないですか？

放課後も月に1回ぐらいの活動ですし、長期休業中も4～5日程度の活動です。健康スポーツに興味がある人は運動部に入部していますし、看護医療に興味がある人も多くの方が部活動に入部しています。ぜひ部活動に入部し、部を活性化するために頑張ってください。

Q13 健康スポーツ系の学びを選択する生徒は、必ず運動部に入らなければならない等縛りがあるのですか？

健康スポーツ系の学びを選択する生徒は必ず運動部に入らなければならないというわけではありません。

ただ、将来健康スポーツ系の進路や学びに興味・関心がある生徒には、部活動で他の人との関わりを持つ中で、リーダーの役割を体験したり、良好なコミュニケーションをとったりするなど、高校生うちに多くのことを学んでほしいと期待します。部活動をすることで、健康スポーツ分野への学びが深まり、将来の進路希望の実現に近づくのではないかと考えます。

Q14 卒業後の進路は？また、看護医療・健康スポーツ系以外の進路に進むことは可能ですか？

国公立・私立大学の看護学部や医療系の学部、福祉系の学部、専門学校、体育・健康系の大学・専門学校を想定しています。そして国語、英語、地歴・公民といった文系の科目をしっかりと学びますので、医療系や健康スポーツ系以外の他の文系の進路に進むことも可能です。

と同時に、看護医療・健康スポーツのことを学ぶほど、その向き不向きをきちんと判別できるようになるのです。そして向いていないと思えば、文系の違う学部に進むことも十分に可能なのです。

実際に卒業生の中には、経済学部や法学部、教育学部に進む人が年に数名ほどいます。

Q15 もっと詳しく知りたいのですが？

本校のホームページに、生徒の活動などを随時掲載しています。ご参考ください。

また、(06) 6488-5335にお電話ください。

ホームページアドレス

<https://amagasakioda.ed.jp/>